



ケータイ

2012年(平成24年) 4月15日発行

主な内容

- ②……アドバンスコープADSホール催物、年金通信
- ③～⑦……名張市議会だより
- ⑧……防災トピック「名張市防災講演会」、親子すくすく行事

発行/名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 ✉pr@city.nabari.mie.jp ㊚http://www.city.nabari.lg.jp

回未来遺産プロジェクト「春を呼ぶ会」登録証授与



▲「プロジェクト未来遺産」の登録証が「春を呼ぶ会」に授与(3月10日)



▲松明山から檜の丸太を運び出す名張高校生(2月11日)  
▲約30kgの松明を担ぎ険しい峠を越える近大高専生(3月12日)



▲松明木の作り方を教える「春を呼ぶ会」会員(2月11日)

# 歴史・文化を次代に伝える

## 伝統を知り、住むまちに誇りを!



春を呼ぶ会 代表 福本 進治さん

**名** 張青年会議所の企画委員長をしていた時に、伝統行事をなくしてはならないと「伊賀一ノ井松明講」の福岡講長(当時)に行事への協力を申し出ました。地域住民以外を行事に参加させることに抵抗があったとは思いますが、快く了承いただきました。また、それまでの電車による奉納を、昔の寄進方法に近づくように、旧笠間小学校(奈良県)まで徒歩で運んでいただくようにもお願いしました。

**わ** たしたちは、伝統行事を守ることはもちろんですが、行事を市民の皆さんにも広く知ってもらい、そして、住んでいるまちに誇りを持っていただきたいと考えています。ここ数年は松明寄進にたくさんの参加があり、やっと、市民の皆さんに認知されてきたと感じています。3年前からは名張高校生にも松明作りに参加してもらっています。学校では学ぶ機会の少ない地元の歴史・文化を知ってほしいですし、また、大人たちと触れ合うことで、人としても成長してもらえればうれしいですね。今年は、近大高専生にも寄進に参加してもらいましたが、これからも多くの若者に参加を呼びかけていきたいです。

**松** 明調進行事の歴史の中では、わたしたちが協力できるのは本当に短い期間ですが、これからも伝統文化を子どもたちに伝える活動を続け、後世に歴史・文化をしっかりと引き継いでいきます。

関西に春を告げる東大寺二月堂で行われる修二会(お水取り)。これに用いられる松明木を納めているのが赤目町一ノ井の住民で構成される「伊賀一ノ井松明講」の皆さんです。この松明調進行事は、約760年前に、土地の道観長者の遺言で始まったとされています。多くの

(東大寺二月堂で行われる修二会(お水取り)に用いられる松明を納める「伊賀一ノ井松明調進行事」。約760年続く伝統行事です。この行事をサポートしているのが「春を呼ぶ会」。高校生に文化を伝え、体験させる活動が評価され、日本ユネスコ協会連盟の「プロジェクト未来遺産」へ登録されました。今号では、歴史・文化を次代に伝える「春を呼ぶ会」の活動を紹介します。)

文化生涯学習室 ☎63・7892

人々の支えによって伝統が引き継がれ、松明調進行事は、当時の様子を垣間見ることが出来る貴重な文化遺産となっています。以前は、「松明講」の後継者不足、高齢化が問題となっていたが、昭和63年に名張青年会議所のメンバーが、伝統行事を守ろうと松明調進行事への協力を始めま

この活動が名張ユネスコ協会に推薦され、平成23年12月、「春を呼ぶ会」は日本ユネスコ協会連盟の「プロジェクト未来遺産」に県内で初めて登録されました。

した。平成13年には、名張青年会議所OBが「春を呼ぶ会」を立ち上げ、協力を継続するとともに、市民の皆さんに伝統行事を知ってもらおうと松明木を市役所1階ロビーで展示したり、松明調進行事への一般参加者を募集したりする活動をしてきました。また、平成22年からは、名張高校へ参加を呼びかけ、体験学習や地域貢献として次代の若者たちの積極的な参加を進めています。